

高機能暗号とそれを支える 物理・視覚暗号シンポジウム

2025年3月10日(月)

東京国際フォーラム (D7ホール D 棟7階)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1

JR 線「東京駅」丸の内南口より徒歩 5 分



https://www.cpsec.aist.go.jp/events/acpv_symposium202503

- | | |
|---------------|--|
| 14:00 - 14:10 | ごあいさつ |
| 14:10 - 14:20 | 開催の趣旨について |
| 14:20 - 14:50 | 秘匿計算による安全な組織間データ連携技術の社会実装
花岡 悟一郎 (産業技術総合研究所) |
| 14:50 - 15:20 | Missing link の打開策！ 高機能暗号が創出する未来
酒見 由美 (GMO サイバーセキュリティ by イエラエ 株式会社) |
| 15:20 - 15:35 | 休憩 |
| 15:35 - 15:55 | 秘密計算の社会実装に向けたカードベース暗号の活用
水木 敬明 (東北大) |
| 15:55 - 16:15 | 人に伝わる技術を目指して
矢内 直人 (Panasonic 株式会社) |
| 16:15 - 16:35 | 高機能暗号による金融・不動産の課題解決の試み
外園 康智 (株式会社 野村総研) |
| 16:35 - 16:55 | 高機能暗号技術のデモンストレーション
品川 和雅 (茨城大) |
| 16:55 - 17:00 | 閉会の挨拶 |
| 17:00 - 17:30 | デモセッション |

開催概要

近年、個人のプライバシー情報や企業の機密データを秘匿したまま、これらの利活用を促す技術として、秘密計算、準同型暗号、属性ベース暗号、検索可能暗号、ゼロ知識証明といった「高機能暗号」と呼ばれる一連の技術の重要性が高まっています。その一方で、これらの技術の仕組み・機能・安全性が複雑であるため、どの技術をどのような状況でどのように活用すればよいかを把握することは必ずしも容易ではありません。本シンポジウムでは、高機能暗号に関し非専門的な技術者であっても、様々な高機能暗号技術について仕組み・機能・安全性を容易に理解可能とするための説明手法について議論を行います。特に、物理・視覚暗号を説明ツールとして用いた手法について焦点をあて、企業、大学、国研に所属する研究開発者たちがそれぞれの立場から、物理・視覚暗号を利用した高機能暗号の社会展開活動やその効果についての具体例を紹介します。

講演者



花岡 悟一郎
産業技術総合研究所

秘匿計算による安全な組織間
データ連携技術の社会実装



酒見 由美
GMO サイバーセキュリティ
by イエラエ 株式会社

Missing link の打開策！ 高機能
暗号が創出する未来



水木 敬明
東北大学

秘密計算の社会実装に向けた
カードベース暗号の活用



矢内 直人
Panasonic 株式会社

人に伝わる技術を目指して



外園 康智
株式会社 野村総合研究所

高機能暗号による金融・不動
産の課題解決の試み



品川 和雅
茨城大学

高機能暗号技術の
デモンストレーション